

## 全国大会出場

卓球 女子ダブルス島根県勢初の銅メダル

柔道 全国高等学校柔道選手権大会に出場

珠算・卓球 全国ビジネス計算競技大会出場

野球 収穫のあった秋季大会

2学期制後期始まる／iPad導入後の取り組み

## 新生徒会執行部発足

島根県高校書道展

2年「キャリアサポート」の進捗状況

イラストコンテスト

イラスト部 中世当主益田氏をイラスト化

インターアクトクラブ活動報告

福祉科だより／通信制課程ニュース

vol.61

発行／明誠高等学校

2021年(令和3年) 11月24日(水曜日) 第61号





## 魅力ある2種類の 入学試験を実施します！

### 推薦入試

試験日：1月12日(木)  
会場：明誠高等学校

### 一般入試

試験日：2月3日(木)  
益田会場：明誠高等学校  
浜田会場：サンマリン浜田

## ホームページ リニューアル

8月末にホームページがリニューアルしました。各ページとも見やすく授業や部活動など様々な行事も更新されます。

個別相談会やイブニング見学会など申込み用紙などもダウンロードでき、募集要項などもあります。是非ご覧ください。



リニューアルした明誠高校ホームページ

## 第12回 島根県中学生

# イラストコンテスト 展覧会開催

11月1日から2日まで、第12回島根県中学生イラストコンテスト展覧会が、島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール「ホワイエ」にて行われた。総数125点もの素晴らしい作品の応募があり、その中から特賞・金賞作品を紹介する。

### 第12回今年度作品より(特賞・金賞作品)



特賞作品「pink summer」  
森崎 菜々恵さん  
(出雲市立第一中学校2年)



金賞作品「Afternoon」  
今岡 七海さん  
(出雲市立斐川西中学校3年)



金賞作品「夕暮れ」  
団野 美柑さん  
(出雲市立大社中学校3年)



金賞作品「2人ぼっち」  
阿武 夏希さん  
(萩市立福栄中学校2年)

## 中世日本の輝き再び 当主益田氏を イラスト化

日本遺産「中世日本の傑作 益田を味わう」の魅力発信に、本校イラスト部が一役買っている。益田の歴史文化を生かした観光拠点づくり実行委員会より、益田氏当主のイラスト化の相談を受け、下剋上の戦国時代に生きた20代当主を、歴史と文化を学び想像力豊かによみがえらせた。そのイラストは塗り絵や缶バッジなどの関連グッズを生み出し、多くの世代に新しい視点から興味関心を抱いてもらう活動につながった。



イラスト部の生徒たち

## インターアクトクラブ (IAC) 活動報告



募金活動を行う生徒たち



EM菌作成を行う益田ロータリークラブの皆さんと生徒たち

明誠高校 IAC は、SDGs の取り組みとして「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」を目標として、10月に益田市社会福祉協議会の方々と、キヌヤ本店とゆめタウンインズ益田にて、赤い羽根共同募金の活動を行った。コロナ禍の中であったが感染予防対策を行い、多くの方々より募金のご協力を頂いた。共同募金運動は、島根県内において、子どもたち、高齢者、障害者などを支援する福祉活動や、災害時支援に役立てられる。

また同クラブは、SDGs「海の豊かさを守ろう」「安全な水とトイレを世界中に」を目的として、益田ロータリークラブと市内4つの小学校のプール清掃活動をしている。この活動は、EM菌の汚染分解を利用し、プール清掃を行っており、清掃後に流れたEM菌が川や海を綺麗にする働きもある。今回はその一環として、EM菌液作成を行った。

今後も、地域の方々のご協力を頂きながら、さまざまな活動を通して、私たちの住む益田のまちの福祉の充実や、豊かな自然を守るなど、益田地域の魅力あるまちづくりへ貢献したい。

## 通信制課程 ニュース

## TSUSHIN NEWS

**益田フォローアップコース**

益田本校通信制課程にて2019年度より新設したフォローアップコース。コース在籍者も10名を超え、今年度初めて卒業生も誕生する。

フォローアップコースはNPO法人志塾フリースクールとの協働で運営を行っている。その専門的な知識、経験、指導方法を用いて、単位修得課題に対しての学習支援や小・中学校の学びな

おし、スクーリングのスケジュール管理やモチベーション管理等を行う。また、日常生活、社会生活、コミュニケーション面の向上へむけた様々なプログラムを実施し、就職や進学など進路決定実現にむけて、より手厚いサポートを実施している。

開設以来3年、少しずつではあるが、地域にも認知されてきており、今後よりその役割は重要になってくると考えている。



フォローアップコース生が  
普段通っている志塾フリースクール (本町)

## 福祉科だより

### 手話でコミュニケーション

10月より福祉科1年生は、講師の中山伸之さん、登米さゆりさんを迎え、手話講習の授業が始まった。

まず始めに、手話は聴覚障がい者のコミュニケーションの方法の一つであり、日本語や外国語と同様に、人と人をつなぎ理解し合うための、一つの言語であると学んだ。

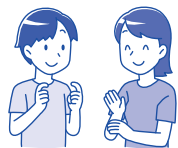
「ありがとう」「いただきます」等の、日常生活での基本的な挨拶を学び、今後は自己紹介を含めた会話や、手話歌を習う予定だ。手話を習う生徒たちの表情はとても生き生きとしている。

目と目を合わせ、手と手、体全体を使って会話することの大切さを改めて気づくことができた。

これらの学びを通して、障がい者の方への理解とコミュニケーション能力をさらに高めていきたい。



手話で「あいしてる」と表現する福祉科の生徒たち



手話を習う生徒たち

表紙: 左から 齋藤 愛華(高津中) 山本 未来(浜田四中) 嘉島 漢人(益田中) 和崎 春鷹(益田中)





## 二期期制 後期始まる

9月30日の前期終業、10日間の秋休みを終え、10月11日から後期がスタートした。始業式で岩本校長は、「これまで12月だった生徒会の新旧交代をこの後期から行う。旧生徒会がコロナ禍で難しい舵取りの連続だったが新しい1ページを築いてくれたことに感謝したい。3年生は、進学や就職等の進路決定・介護福祉士国家試験合格・キャリアサポート総括に向けより集中して取り組める環境ができるので全力を傾注して高校生活の締めくくりをして欲しい。そしてバトンを受け取る2年生は、自覚をもって新生徒会長のもと1年生と協力して活動を盛り上げて欲しい。」と話した。

## i P a d 導入後の取り組み

今年度より生徒一人一台iPad端末が支給され、学校生活において様々な場面で活用されている。

授業では、生徒が主体的に情報を収集・知識を深め、画像や動画機能を利用しプレゼンテーションを行うなど、学びの共有に積極的に活用している。部活動でも、練習や試合の動画共有など活用する部が増えている。iPadが日常の学校生活に欠かせないものになり始めている。

今後も、エアドロップやドライブ機能など、紙媒体から電子データでの連絡のシス・テムを構築するなど、更なる活用を模索していききたい。



iPadを使用し学ぶ生徒たち

## 新生徒会執行部発足！

2022年度の新生徒会執行部が発足した。立会演説会では、立候補者の皆さんが力強くマニフェストを発表し、生徒会選挙が行われた。会長には2年4組の赤松さん、副会長には2年2組の湯田さん、桑原さんが選ばれた。新生徒会は、「先輩方からの伝統を引き継ぎながら、より良い学校を目指し活動したい。」と意気込みを示している。

生徒全員の模範となるよう先頭に立ち、時代の変化に対応した、地域に密着し愛される学校を目指し、前向きにチャレンジし活動していった。

生徒会引き継ぎ式をする生徒たち

### 2022年度 生徒会執行部

|       |          |       |          |         |
|-------|----------|-------|----------|---------|
| 生徒会長  | 赤松 丈毅さん  | 生徒副会長 | 湯田 幸生さん  | 桑原 心花さん |
| 事務局長  | 増村 優さん   | 体育委員長 | 向原 宏郎さん  |         |
| 風紀委員長 | 水上 星哉さん  | 保健委員長 | 岩田 来未さん  |         |
| 交通委員長 | 明山 朱々華さん | 図書委員長 | 坂根 穂乃華さん |         |
| 文化委員長 | 楠 陽生さん   | 事務補佐  | 小村 駿輔さん  | 岡 輝羅さん  |
|       |          |       | 中尾 優月さん  |         |
|       |          |       | 石橋 海和さん  |         |
|       |          |       | 梅田 優花さん  |         |
|       |          |       | 和田 咲さん   |         |
|       |          |       | 金光 果乃さん  |         |
|       |          |       | 齋藤 諭美さん  |         |
|       |          |       | 高城 美優さん  |         |
|       |          |       | 米原 知洋さん  |         |
|       |          |       | 藤井 志音さん  |         |
|       |          |       | 濱田 楓さん   |         |
|       |          |       | 滝 優一郎さん  |         |
|       |          |       | 福田 咲希さん  |         |
|       |          |       | 安田 こころさん |         |
|       |          |       | 佐々木かなえさん |         |
|       |          |       | 田中 咲良さん  |         |
|       |          |       | 小村 駿輔さん  |         |
|       |          |       | 金田 海音さん  |         |

## PTAマイクロバス納車

PTA 寄贈のマイクロバス(三菱ふそう ROZA・29名乗り)が10月14日に納車され、安全祈願をおこなった。翌15日からは、早速キャリアサポートの生徒送迎や、部活動の大会等に利用された。

バスには最新の安全装備や充実装備がついており、安心して利用できる。

寄贈

いただいたPTA会長様、役員様、全員の皆様に感謝を申し上げるとともに、末永く大切に利用していき



バス安全祈願を終えて

## 感染予防対策

秋季となり、新型コロナウイルスの感染症数が少なくなってきたおり、通常のベイスの生活が戻りつつある。

本校では、後期も引き続き、基本的な感染対策である3密の回避(密集・密接・密閉)、マスクの正しい着用、こまめに手洗い・手指消毒、換気を実施している。また一人ひとりが日々の体調確認(検温・自覚症状の有無)を行い、よく食べ笑い、活動・休息のバランスを心がけ自己免疫力を高められるよう、心と体の健康管理に努めている。

これから冬季にかけ気温・湿度が下がり、新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザも流行しやすい環境になる。

今後も、生徒・教職員ともに学校全体で、基本的な感染症予防対策を心がけ、毎日楽しく笑顔で、充実した生活を過ごしていきたい。



感染予防に努める生徒たち

## 地域の課題に向き合うキャリアサポート

■聞いて感じて地域とつながろう

21社の地元企業の皆さんに来ていただき、企業の紹介や、企業はどんな人材を求めているのか、卒業するまでに身につけて欲しいことなどを、実体験を踏まえながら伺った。

この学校設定科目「キャリアサポート」の目的は、地域の様々な職種で活躍されている方々と触れあうことで地元で働くことを身近に感じ、地元企業についての理解を深めること、また地域の魅力や課題や求められる人材を知り、進路選択における自己の能力・適正を判断する機会とすることである。

2年生の生徒たちは、真剣な様子で多くの企業の方々の話に耳を傾ける様子が見られた。

普段の授業では聞けない貴重な学びから、自分自身と将来を見つめ、地域に求められる人材へと成長して欲しい。



説明を真剣に聞く生徒たち

## 島根県高校書道展

A部門(優秀賞)1年青木玄弥(中西中)

B部門(優良賞)3年米富文弥(阿知須中)

今年の高校書道展の本校書道部の成績である。島根県高校書道展は書道部にとって、全国高等学校総合文化祭予選で、最重要行事である。4年前に特別賞を初受賞して以来、毎年受賞を重ねてきた。今年も全国には届かなかったが、例年と大きく違った点がある。出品した3名全員が部門審査で特別賞候補の最終審査まで残った。

5年前、道具も実力も何もないところから、「全国総文祭出場を目指す」というチャレンジを始めた。活動日も週1日から2年後に週5日・2時間に変えた。合宿、日帰り錬成、県内外に書道展・筆工房見学等を行う。まさに「なりふり構わず」の言葉通りであるが、こんな感じでも続けると、地域の書道教室の先生方の中からも理解を示してくださる方や協力・応援してくださる方も少しずつ増えてきた。行動力は島根一と自負している。

昨年度の卒業生で、書道教室に通った経験がない中でも、3年次の高校書道展では特別賞を受賞するまでに成長した。教室に通う経験者に比べると最初は不利であるが、最終的にそこまで成長できる事例となった。未経験者でも可能性を信じてチャレンジできるのが本校書道部の強みである。

昨年度からは益田書道展に出品している。書道部のPRや地域の書道振興に協力するため、部員達が考えて参加を決めた。卒業後「それぞれの地域・所属教室で活動・活躍」を伏線として目標に掲げた。県内でも書道部員の多くが卒業後に書道から離れているのが実態。この地域の書道界も「後継者育成」に悩んでいる側面もある。部として「地域課題解決」にチャレンジすること。全国を目指すことと同時に設定したいテーマでもある。



青木 玄弥さん  
(中西中)



米富 文弥さん  
(阿知須中)



吹金原 真耶さん  
(小野中)

福原 良枝さん  
益田商業高卒(現・明誠高) 11期生

## 頑張ってます 卒業生

明誠高校の珠算・電卓部で指導にあたる、福原良枝さんを紹介する。



生徒を笑顔で見守る福原さん

益田市出身。小学校4年の頃、そろばん塾に通いはじめ、益田商業高(現・明誠高)の珠算部で腕を磨いた。その後30歳の頃にそろばん教室を開設するとともに、明誠高の珠算・電卓部で、28年間指導にあたられている。

現に、今年も珠算・電卓部は、全国高等ビジネス計算競技大会島根県大会の団体総合競技で優勝し、全国大会に52回連続出場を果たしている。

特に、デジタル化が進む中、そろばんをイメージしながら計算する暗算は、脳を刺激し、発達を促す効果があるといわれ、集中力も養われる。

福原さんは、「(珠算・電卓は)机上のスポーツ。生徒たちは全国レベルで戦っている。その真剣な姿勢とまなざしを見るのがとても好き。成長する姿が見られるととても嬉しい。」と、笑顔で語る。

生徒たち一人ひとりを認め、珠算の魅力を伝えることを大切にしている福原さん。今後も福原さんの指導のもとで活躍する生徒たちに期待したい。



# 全国大会出場

卓球部  
柔道部  
珠算・電卓部

## 2021インターハイ卓球競技 女子ダブルス 島根県勢初の銅メダル！

令和3年8月13日～16日、富山県富山市で令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技(インターハイ)が開催された。女子ダブルスで山崎唯愛・直江杏組が3位入賞、念願のメダルを獲得した。ペアを組んで5年、中学校時代も全日本カデットで2年連続3位入賞の実績を残しているが、インターハイでは県勢初の快挙で、新たな歴史をつくった。また、学校対抗



息の合ったプレーで3位入賞の山崎・直江組



5度目の入賞で安堵の団体メンバー

では高い実力を見せて準々決勝に進出、2年生エースの山崎がチームを引っ張り、5大会ぶり5度目の5位入賞となった。シングルスでも直江杏の速攻が光り、12位に入賞、初の全種目入賞を果たした。また竹村和がベスト32に進出するなど、出場選手全員が初戦を突破できたことも全体のレベルアップが成功したこと証であった。レギュラーメンバーは1ヶ月ほど総監督の自宅に泊まり、練習量を増やし、やるだけのことはやって迎えたインターハイ、昨年中止となっていた先輩方なかった先輩方や今回会場に行けなかった部員の思いも含め全員で勝ち取った勝利だと感じている。まだまだ課題もたくさんある。多くの方々に感謝し、満足せず日本一への挑戦を続けたい。

### ◎結果

〈女子学校対抗〉  
1回戦  
明誠3…0  
一関第一(岩手)

2回戦  
明誠3…0白子(三重)  
3回戦  
明誠3…1明豊(大分)  
準々決勝  
明誠0…3四天王寺(大阪)



選手を鼓舞する岸 卓臣総監督

### 〈女子ダブルス〉

山崎唯愛・直江 杏  
3位入賞  
竹村 和・幸地萌香  
2回戦敗退

### 〈女子シングルス〉

直江 杏 12位  
竹村 和 ベスト32  
山崎唯愛 ベスト64  
尼崎和奏 2回戦敗退

### 〈参加メンバー〉

監督 岸 卓臣  
コーチ 引地 史  
主将 幸地萌香(益田中)  
選手 竹村 和(高野中)  
選手 椿 侑芽(益田中)  
選手 山崎唯愛(益田中)  
選手 直江 杏(益田中)  
選手 尼崎和奏(枚岡中)  
選手 木山この実(益田中)  
サポート木下陽菜(昇陽中)  
サポート木山 華(益田中)

## 柔道 コロナ禍 全国で試合できる喜びを感じ

長野県長野市の真島総合スポーツアリーナでインターハイが開催された。本校からは4名の生徒が出場した。48キロ以下級で出場した西林は3位入賞した足立選手(滋賀/比叡山)と対戦し、序盤は果敢に攻め込むが内股で投げられ一本負けした。52キロ以下級では伊藤が出場し、1回戦は西島選手(福井/敦賀)に開始早々に豪快な大腰をかけ見事な一本勝ちを収めた。2回戦は、高木選手(東京/淑徳)と対戦し、両者の白熱した攻防が続いた。延長戦に入り、「指導1」の僅差で敗れた。70キロ以下級では、井上が全中チャンピオンの辻選手(石川/津幡)と対戦し、力強い組み手争いで序盤は優位に試合を運ぶものの、一瞬の隙を突かれ、大外刈りで投げられ抑え込まれた。

### ◎結果

48キロ以下級  
西林佑季子 1回戦敗退  
52キロ以下級  
伊藤 花恵 2回戦敗退  
70キロ以下級  
井上 七海 1回戦敗退  
78キロ超級  
川本 果歩 2回戦敗退



全国大会で健闘した生徒たち

## 全国ビジネス計算競技大会出場

令和3年7月23日、出雲ロイヤルホテルで、第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会が開催された。本年度は、各県の各会場で、全国一斉に、オンラインによる開会式後、競技が行われた。

緊張感あふれる中、吉岡美佳



珠算・電卓部の生徒たち

## 野球 収穫のあった秋季大会



2回戦を突破して試合後の整列

この長い冬が勝負である。どれだけ自分と向き合い追い込めるか、弱い自分に勝てるのか。王貞治さんの言葉に「敵と戦う時間は短い。自分との戦いこそが明暗を分ける。」というものがある。どのスポーツにも通じるものである。この冬に根を深く張り、夏に大輪の花を咲かせてくれることを楽しみにしている。

### 〔2回戦〕

対 松江北 4対1

### 〔3回戦〕

対 益田東 8対9

【延長10回】



好投した渡邊さん(渋谷中)

第137回秋季中国地区高等学校野球島根県予選に出場し、ベスト8を前に敗れてしまった。

この大会でチームの課題が浮き彫りになり、また個々の課題も明確になった。